

## 「繋がる江平っ子の輪」

都城市立江平小学校 養護助教諭 木島由香

江平小学校は、全校児童 39 名の小規模校です。

校門をくぐると、すぐに「進ちゃん像」が出迎えてくれ、毎日、子どもたちの安心安全と成長を見守ってくれています。この進ちゃん像は、男の子で、左手を高々と上にあげ、「希望や勇気をもって明るく前に進んでいってほしい」という願いから、昭和 35 年の卒業記念碑として担任と子どもたちで作られたそうです。現在も年 1 回卒業生による手入れでピカピカに存在しています。

その他にも、現在は使用していませんが、藤棚やコンクリートで作られた椅子やテーブル、飼育小屋など自然を愛しながら一緒に生活できるようにと作られた「江楽園」や、歴史がたくさん詰まった記念碑が校庭の所々に設置されています。そんな中、子どもたちは鳥や虫の鳴き声が響く自然豊かな環境で伸び伸びと生活しています。

今年は「地球温暖化」ではなく「地球沸騰化」と国連から警鐘を鳴らされましたが、子どもたちは暑さにも負けず、昼休みになると水筒、帽子…を抱え猛ダッシュで運動場を駆け回り、汗をかきながら、体力向上に力を注いでいます。(私も毎日、ハラハラしながら暑さ指数計とにらめっこです)

体力向上は他にも、高崎地区の体力部会で統一している実践事項として、養護教諭部会で作成した柔軟性を高める「宮大ストレッチ」、授業前の「サーキット」や昼休みの「みんなで遊ぶ日」、「早寝、早起き、朝ごはん」「メディア」に関する取組などがあります。

近年は、時代とともに ICT が進み小規模校であっても時代の流れは関係なく、大人より子どもたちの方が情報の収集、発信が早くなっています。授業もタブレットの使用が増え、姿勢、視力低下、聴力低下…とこれまで以上に健康状態が気になる子ども、家庭環境内での SNS・ゲームの使用時間が長い子どもも少なくありません。

この 39 名の健康と笑顔をどれだけ維持できるかが私の課題です。これからも、朝一番の健康観察から始まり、学校生活の中で一人一人と関わりをもちながら日々保健室から見守り、支援していけるように努めたいと思います。

そして、今年度は江平小の大イベントとして「創立 150 周年」記念式典が行われます。この式典で、子どもたち、地域の皆さんに愛されてきた江平小がこれを機に益々多くの人との繋がりを実感できる記念事業になりそうです。

都城にお越しの際は是非、自然豊かな江平小まで足を伸ばしていただけると幸いです。